

- ③ 国際理解学科の学生の皆さんは「教科及び教科の指導法に関する科目」を共通教育科目（社会・公民科免許のための一部科目）のほか、自学科の専門教育科目から履修し、卒業要件単位に加えることができます。（ただし、各区分での上限があります。）
- ④ 国際観光学科の学生の皆さんも教職課程の履修登録ができますが、希望人数によっては何らかの「制限」を設ける場合があります。
- ⑤ 教職課程に登録した皆さんは3年次の介護等体験や4年次の教育実習など、学外での体験・実習活動に参加しなければなりません。また学習合宿や特別講座、学外活動など多様な学習支援を図っていますので、積極的に参加するよう心がけてください。

詳細は、本書の巻末「教職課程履修のてびき」および教職課程オリエンテーションでの説明を参照してください。

(7) 文化交流創成コーディネーター(略称：インターカルチュラル・コーディネーター)資格の取得

国際学部では、インターカルチュラル・コーディネーター資格要件に対応する科目を設置しています。本資格は、日本国際文化学会が認定する資格で、以下のカリキュラム・フレーム科目履修によるプログラム単位修得16単位に加えて、学会が主催する短期集中セミナーを受講することが望ましいとされています。短期集中セミナーへの参加が困難である場合は、間文化活動実践を積んでいることを記載した学習活動報告書を代わりに提出することができます。

インターカルチュラル・コーディネーターとは、現在までの様々な文化活動の独自性の継承と相互的文化交流による新たな文化の創成に携わり、そこに存する諸課題の把握とその解決に取り組む者と定義されています。日本と世界で多文化の共存する社会に貢献するグローバル人材として活躍することが期待されます。詳細については、オリエンテーションで説明します。

| 区分 | 科目名 | 単位 | 開講Semester | | | | | | 必要 科目数 |
|-------|-------------------|----|------------|---|-----|---|-----|---|-----------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | |
| 基礎科目 | 国際学入門 | 4 | ○ | | | | | | 2科目 以上 |
| | 国際学A | 2 | | | | ○ | | | |
| | 国際学B | 2 | | | | ○ | | | |
| | 国際学C | 2 | | | | | ○ | | |
| | 国際学D | 2 | | | | | ○ | | |
| | 国際理解論 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 国際観光論 | 2 | | ○ | | | | | |
| 専門科目 | 国際理解とコミュニケーション | 2 | | ○ | | | | | 4科目 以上 |
| | 観光と交流 | 2 | ○ | | | | | | |
| | 交流文化論 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 文化政策論 | 2 | | | | | | ○ | |
| | 現代世界と宗教 | 2 | | | | | ○ | | |
| | 環境社会学 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 西洋思想と国際社会 | 2 | | | | ○ | | | |
| | 日本ポップカルチャー論 | 2 | | | | | ○ | | |
| | インタープリテーション論I（理論） | 2 | | | | ○ | | | |
| | 多文化社会と共生 | 2 | ○ | | | | | | |
| | 市民社会と教育 | 2 | ○ | | | | | | |
| | 東洋思想と国際社会 | 2 | | | | | ○ | | |
| 開発教育論 | 2 | | | | ○ | | | | |